

# NEWS Letter



## Contents

三遠南信地域連携研究センター「越境地域政策研究拠点」	2
2013年度全国越境地域政策シンポジウム	4
2013年度越境地域政策研究フォーラム	5
共同研究(公募研究)	6
2014年度共同研究公募要領(抜粋)	7
コア研究会	7
内蒙古大学EMBA学生の日本研修	8
アクセス	8



# 三遠南信地域連携研究センター「越境地域政策研究拠点」

## 越境地域政策の科学的な確立に向けて

地域政策は、国・県・市町村などの行政区域を単位として立案・実行されます。このため歴史や文化の一体性、或いは広域的な政策需要が存在しても、行政境界を跨ぐ県境地域や国境地域など越境地域での政策立案や実施は容易ではありません。しかし日本国内でも市町村の約4割が県境に接しているなど越境地域政策の必要性は高く、むしろ行政境界を結び目とすることによって、閉塞感を持っている従来の行政制度や政策発想に縛られない地域政策の可能性があるといます。

愛知大学は、戦前上海にあった東亜同文書院大学を前身として、1946(昭和21)年に愛知県豊橋市に設立された、地域性と国際性の協調を理念とする大学です。三遠南信地域連携研究センターは、特に愛知県・静岡県・長野県の県境地域である三遠南信地域を対象として、様々な地域研究やGIS(地域情報システム)研究を設立以来推進してきました。2013(平成25)年4月には文部科学省「共同利用・共同研究拠点」制度における「越境地域政策研究拠点」として認定され、国内外の越境地域に関する研究機関との共同研究を促進することによって、越境地域政策における地域データ整備から将来予測、政策合意形成に至る総合的な政策研究を目指しています。



三遠南信地域連携研究センター長  
戸田 敏行

### ■これまでのセンターの取り組み

平成17年度 文部科学省 私立大学学術研究高度化推進事業	採択	5年間	「グローバルな視点に立った「地域づくり」 トータルシステムの開発」	研究代表者: 佐藤元彦 経済学部教授
平成22年度 文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	採択	3年間	「三遠南信地域における「地域連携型 GIS」の研究」	研究代表者: 蔣湧 地域政策学部教授
平成25年度 文部科学省 共同利用・共同研究拠点	認定	6年間	「越境地域政策研究拠点」	研究代表者: 戸田敏行 地域政策学部教授
平成25年度 文部科学省 特色ある共同研究拠点の整備の推進事業	採択	3年間	「越境地域政策研究拠点」	研究代表者: 戸田敏行 地域政策学部教授



### 三遠南信地域



### 共同利用・共同研究拠点とは

「三遠南信地域」とは、愛知県東三河地域の「三」、静岡県遠州地域の「遠」、長野県南信地域の「南信」からなる県境を越えた広域地域です。愛知大学三遠南信地域連携研究センターは、これまで進めてきた行政境界を跨いだ三遠南信地域研究、GIS研究実績等が評価され、文部科学省「共同利用・共同研究拠点」に『越境地域政策研究拠点』として、平成25年度から6年間認定されました。

共同利用・共同研究拠点とは、個々の大学の枠を越えて大型の研究設備や大量の資料・データ等を、全国の研究者が共同で利用、共同研究を行うシステムです。国立大学の全国共同利用型の附置研究所等を中心に推進されてきましたが、平成20年7月に学校教育法施行規則を改正し、国公私立大学を通じたシステムとして、文部科学大臣による共同利用・共同研究拠点の認定制度が設けられました。平成25年現在、全国の国公立30大学で78拠点、私立11大学で12拠点が認定を受けており、中部圏では、名古屋大学、富山大学、金沢大学、静岡大学と愛知大学の5大学が認定されています。

# 三遠南信地域連携研究センター「越境地域政策研究拠点」

## 越境地域政策研究拠点の概要

従来の地域政策で対応されなかった県境地域・国境地域などの行政境界を跨ぐ越境地域政策の科学的な確立を目的とします。政策手法を構築する越境地域計画コア、政策情報を形成する越境情報のプラットフォームコア、計量的予測に関する越境地域モデルコアで共同研究を実施し、各越境地域における地域データ整備から将来予測、地域政策合意に至る総合的な越境地域政策研究を促進します。また、国内外の越境地域における地域政策研究機関、研究者等との一般共同研究、地域間交流研究、越境地域基盤研究を行います。

## 越境地域政策拠点の目的

三遠南信地域における越境地域政策研究を蓄積し、国内外の越境地域とのネットワークを形成してきた愛知大学三遠南信地域連携研究センターを研究拠点とし、全国の県境地域、国外の国境地域における地域政策研究機関との共同研究によって、政策パッケージの構築を目指します。

## 越境地域政策拠点の必要性

我が国の市町村の約4割は県境に接しており、県境を越えた地域政策の必要性が高くなっています。また、東アジアにおいても国内越境地域・国境越境地域が出現しつつあります。しかしながら、行政境界を跨ぐ(クロスボーダー)越境地域(県境地域、国境地域)には、統一的な政策主体や地域政策データが整備されておらず、我が国や東アジアにおける地域分権の進展を背景として、越境地域政策の重要性が増しています。

## 三遠南信地域連携研究センターの研究蓄積

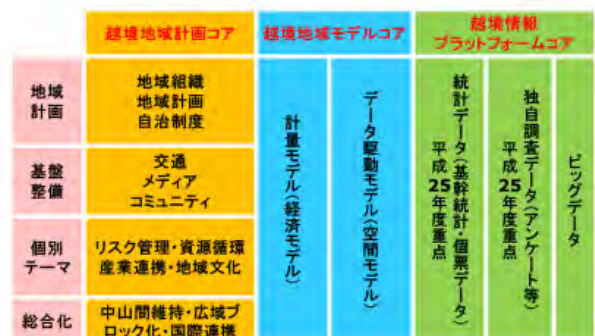
我が国の越境地域政策モデルである三遠南信地域を対象とした ①越境地域計画に関する蓄積、②越境地域の政策データを構築するGIS(地理情報科学)研究の蓄積、③越境地域を統合的に計画する計量モデル手法に関する蓄積を有しています。

## 越境地域政策研究拠点の体制

### ■ 3つの研究コア

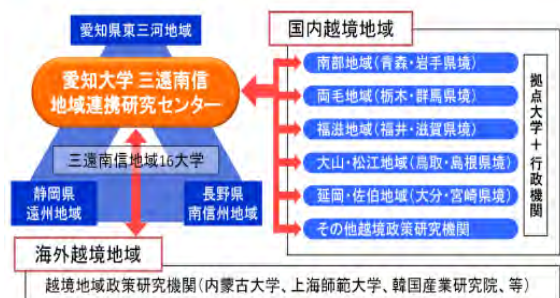
共同研究をととして、越境地域における地域データの将来予測、地域政策合意にいたる総合的越境地域政策研究を促進します。

- ・越境地域計画コア〔越境地域における政策手法を構築する研究〕
- ・越境情報プラットフォームコア〔越境地域における政策情報を形成する研究〕
- ・越境地域モデルコア〔越境地域における計量的予測に関する研究〕



### ■ 3層の共同研究機関ネットワーク

- ・県境地域「三遠南信地域」を政策実験モデルとして、3層の共同研究機関ネットワークで研究を進めます。
- ・全国県境地域との連携により蓄積してきた国内越境地域研究機関ネットワーク
- ・共同研究を行ってきた東アジアにおける大学等との海外越境地域研究機関ネットワーク
- ・三遠南信地域16大学、シンクタンク等との三遠南信地域研究機関ネットワーク



### ■ 共同研究

#### ● 一般共同研究(公募研究)：

全国の研究者を対象に特定の越境地域において以下の越境地域政策に関する研究課題(課題研究、自由研究)を対象とします。

- ・課題研究／1.越境地域のガバナンス形成、2.越境地域のリスク管理、3.越境地域の産業経済連携、4.越境地域の生活環境形成、5.越境地域の情報基盤整備
- ・自由研究／越境地域政策に関する研究課題を自由に設定

#### ● 地域間交流研究(公募研究)：

越境地域政策研究の基盤づくりを目的として、特定の越境地域(国内・国外)における産・官・学の研究者や行政関係者によるシンポジウム・研究会等の研究交流事業を中心とします。

#### ● 越境地域基盤研究：

全国越境市町村、越境地域組織、三遠南信地域内事業所等の実態調査をし、政策データベースを強化します。

# 2013年度 全国越境地域政策シンポジウム



2013年10月30日に、三遠南信地域連携研究センター主催で第1回全国越境地域政策シンポジウム「県境地域の新たな可能性」を第21回「三遠南信サミット2013 in 南信州」の全体会の中で開催しました。

シンポジウムでは、各パネリストから各県境地域における県境を越えた医療、防災、都市連携、中山間地域対策、道州制へのアプローチ等について事例や研究を紹介していただきました。今後の越境地域政策の確立に向けて多くの示唆に富んだ有益なシンポジウムとなりました。(場所: 飯田文化会館)



## シンポジウム趣旨

日本の市町村の4割は県境に接しています。これらの地域では経済活動や自然環境保全、医療、防災などへの対応に県境を跨いだ政策、つまり「越境地域政策」が求められています。しかし、現状では県境地域の政策意思決定主体や地域政策データの整備は困難な状況です。

こうした背景の中、愛知大学三遠南信地域連携研究センターは、文部科学省「共同利用・共同研究拠点」制度において、国内外の越境地域の政策研究を進める「越境地域政策研究拠点」として認定されました。そこで、越境地域政策の科学的な確立を目指した共同研究の一環として、第1回全国越境地域政策シンポジウムを開催します。全国の各県境地域の地域政策研究者や行政関係者から、県境を越えた医療、防災、都市連携、中山間地域対策、道州制へのアプローチなどの事例や研究を紹介していただき、今後の越境地域政策について、皆様とともに考えて参ります。

日時 2013年10月30日(水)  
13:00 ~ 15:00  
場所 飯田文化会館  
(長野県飯田市高羽根町5丁目5番地1)

## パネリスト

- 大坪 秀一** (八戸市 総合政策部長)  
青森・岩手県境地域
- 蟹江 好弘** (足利工業大学 副学長)  
栃木・群馬県境地域
- 藤山 浩** (島根県中山間地域研究センター 研究統括監)  
鳥取・島根・岡山・広島・山口県境地域
- 首藤 正治** (延岡市長)  
宮崎・大分県境地域
- 西座 聖樹** (九州経済フォーラム 理事)  
全九州県境地域

## コーディネーター

**戸田 敏行** (愛知大学三遠南信地域連携研究センター センター長)

## 主催

愛知大学三遠南信地域連携研究センター

## 共催

三遠南信地域連携ビジョン推進会議 (SENA)

## 【お問い合わせ先】

愛知大学 三遠南信地域連携研究センター  
〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1 TEL: 0532-47-4157 FAX: 0532-47-4576  
E-mail: sen-center@ml.aichi-u.ac.jp (担当: 佐藤正之・伊藤まり子)

本シンポジウムは、三遠南信地域で毎年開催しております「三遠南信サミット2013 in 南信州」の全体会の中で実施致しますので、引き続きサミットにもご参加下さい。詳細は、<http://www.sena-vision.jp/index.html> をご覧下さい。



# 県境地域の新たな可能性

文部科学省 共同利用・共同研究拠点  
「越境地域政策研究拠点」 愛知大学三遠南信地域連携研究センター  
第1回全国越境地域政策シンポジウム



# 2013年度 越境地域政策研究フォーラム



2014年2月14日、三遠南信地域連携研究センター主催で越境地域政策研究フォーラムを開催しました。フォーラムでは、基調講演に日本学術会議大西隆会長を招き「越境地域政策と国土計画」と題してご講演いただきました。続いての「越境地域間交流研究シンポジウム」では、当センターの公募研究「地域間交流研究」に応募・採択された各県境地域の研究代表者に、パネリストとして各県境地域での現在の取り組みの紹介をしていただきました。そして、県境地域における今後の研究展開等について多くの提言もいただきました。その後、テーマ別に5つの分科会に分かれ、研究者による発表がなされ、活発な意見交換が行われました。最後に、5分科会の総括報告会を行いました。  
(場所: 愛知大学豊橋校舎)

## 開催趣旨

地域政策は、国・県・市町村などの行政区域を単位として立案・実行されます。このため歴史や文化の一体性、或いは広域的な政策需要が存在しても、行政境界を跨ぐ県境地域や国境地域などの政策立案や実施は容易ではありません。しかし日本の市町村の約4割が県境に接しているなど越境地域政策の必要性は高く、むしろ行政境界を結び目とすることによって、従来の行政区域や制度に縛られない地域政策の可能性があるとされます。

愛知大学三遠南信地域連携研究センターは、文部科学省「共同利用・共同研究拠点」制度における「越境地域政策研究拠点」として、国内外の越境地域を対象とした政策研究を進めています。この度、越境地域政策の背景と課題、今後の政策研究の可能性を考える場として、下記の様に研究フォーラムを開催することとなりました。越境地域政策に関心を持つ皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2014年 2月 14日(金) 場所：愛知大学豊橋校舎

午前の部 10:00～12:45 (会場：記念会館3F)

あいさつ 佐藤元彦 (愛知大学学長)

■ 基調講演「越境地域政策と国土計画」 大西隆 (日本学術会議会長、慶應義塾大学特別招聘教授)

■ 「越境地域間交流研究シンポジウム」

パネリスト：青森・岩手県境地域：丹羽浩正 (八戸学院大学)、中国地方県境地域：藤山浩 (島根県中山間地域研究センター)、佐賀・福岡等県境地域：堀尾容康 (九州大学)、海外越境地域 (中国北部省境地域)：郭曉川 (内蒙古大学)

コーディネーター：戸田敏行 (愛知大学三遠南信地域連携研究センター長)

午後の部 14:00～

■ 分科会 14:00～16:30 (※発表者およびテーマは変更になる場合があります)

**分科会 1** 越境地域のガバナンス (会場：記念会館3F) コーディネーター：戸田敏行 (愛知大学) / コメントーター：大貝彰 (豊橋技術科学大学)

県境地域を対象とした連携組織と活動：高橋大輔 (東三河地域研究センター)  
県境市町村の越境政策意向：小川勇樹 (愛知大学)  
県境地域と交通弱者：後藤麻寛 (佐賀大学)、堀尾容康、石丸修平 (九州大学)  
欧州における国境を跨いだ空間戦略：大貝彰 (豊橋技術科学大学)  
大メコン圏経済圏と越境交通協定：名和聖高 (愛知大学)

**分科会 2** 越境地域とリスク管理 (会場：記念会館1F) コーディネーター：功田由紀子 (愛知大学) / コメントーター：青木伸一 (大阪大学)

岩手県野田村におけるチーム北リアスの協働：河村信治 (八戸工業高等専門学校)  
滋賀県の原子力防災の取り組み：田中弘明 (滋賀県防災危機管理局原子力防災室)  
越境地域の河川管理：青木伸一 (大阪大学)  
越境地域の資源・エネルギー・廃棄物管理：後藤尚弘 (豊橋技術科学大学)

**分科会 3** 越境地域の生活・文化 (会場：本館5F) コーディネーター：若崎正弥 (愛知大学) / コメントーター：豊崎久好 (愛知大学)

中国山地へ地域再生のフロンティアとしての連携可能性：藤山浩 (島根県中山間地域研究センター)  
「坂」(峠)と「渡り」が創出する文化：和田明美 (愛知大学)  
女性による生活基盤の形成活動と越境：武田圭太 (愛知大学)  
越境する学校教育の可能性 (セカンドスクール)：加島大輔 (愛知大学)

**分科会 4** 越境地域と経済・産業 (会場：本館5F) コーディネーター：駒木伸比古 (愛知大学) / コメントーター：加藤健哉 (東三河地域研究センター)

三遠南信地域の地域間産業連関分析に関する調査：洗澤博幸 (豊橋技術科学大学)、打田委千弘、富村圭 (愛知大学)  
越境地域とマーケティング (越境する広告)：近藤晴夫 (愛知大学)  
越境地域とスポーツ産業 (越境地域とスポーツイベント)：元晶煜 (愛知大学)  
中国内モンゴル省境地域の産業連携 (乳産業の越境性を中心に)：銭貴霞 (内蒙古大学)

**分科会 5** 越境地域の情報基盤 (会場：本館2F) コーディネーター：蔦浦 (愛知大学) / コメントーター：鹿嶋林 (慶応義塾大学)

流域環境研究における情報基盤：水谷千亜紀 (国立環境研究所)  
マイクログリッドを活用した都市・地域センシング技術：秋山祐樹 (東京大学)  
空間データマイニングによる三遠南信地域の地域性分析：稲垣英樹 (安城市役所)  
写真共有サイトを利用するユーザの持つ地域特性に関する考察：澤田貴行 (愛知大学)  
行政境界の変遷 (GISシミュレーションの試み)：蔦浦 (愛知大学)

■ 総括報告会・交流会 17:00～ (会場：遣通館2F(生協))

## 越境地域政策研究フォーラム

(2013年度)

文部科学省 共同利用・共同研究拠点  
「越境地域政策研究拠点」 愛知大学三遠南信地域連携研究センター

【お申込み・お問い合わせ先】  
愛知大学  
三遠南信地域連携研究センター  
〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町 1-1  
TEL: 0532-47-4157  
FAX: 0532-47-4576  
E-mail: sen-center@m1aichi-u.ac.jp  
(担当：佐藤・伊藤)



# 共同研究（公募研究）

越境地域政策研究拠点は、国内・国外の越境地域における地域政策研究機関との共同研究、地域間の研究交流を行うことによって、従来の地域政策で対応されなかった県境地域・国境地域などの行政境界を跨ぐ越境地域政策の科学的な確立を目的としています。

今後の展望として、越境地域政策に関する防災、産業創出、自然環境保全、エネルギー循環、都市再生、医療福祉、歴史文化、教育等の共同研究を行うことによって、現在の地域政策に欠落している越境地域政策の立案手法を明らかにし、全国に広がる越境地域の地域資源活用や道州制などの新たな広域地域政策の適切な展開に寄与したいと考えております。

本センターでは、同拠点事業として、共同研究の質的向上と研究参加の拡大にむけ、共同研究を公募します。

2013年度は「地域間交流研究」を、2014年度は「一般共同研究」「地域間交流研究」です。

## 2013年度「地域間交流研究」採択一覧

	2013-001	2013-002	2013-003	2013-004	2013-005
研究交流テーマ	県境地域における交通弱者(医療難民、買物難民)問題解決のための地域行政・大学・産業界共同研究ネットワーク構築に関する基礎的調査	中国山地を横断した地域再生に関わる共同研究	中海宍道湖大山圏域における中海自然再生に向けた環境学習拠点づくりに関する研究	県境を越えた復興支援・交流事業に関する研究	中国内モンゴル自治区の乳産業の越境性—原料乳の収集を中心に
研究対象地域	筑後川流域地域	中国山地を中心とした中国地方五県	中海宍道湖大山圏域、島根県鳥取県県境地域	青森県八戸市、岩手県二戸市・久慈市・野田村	中国内モンゴル自治区
申請代表者	堀尾容康	藤山浩	細田智久	丹羽浩正	銭貴霞
所属機関	九州大学	島根県中山間地域研究センター	米子工業高等専門学校	八戸学院大学	中国・内蒙古大学
共同申請者	3名 (吉村茂、後藤敏寛、高塚明)	8名 (小田切徳美、田村尚志、今井裕作、山邊勝、入江嘉則、金成政博、白石絢也、高橋正也)	2名 (熊谷昌彦、徳岡隆夫)	5名 (田中哲、田村正文、河村信治、熊谷浩二、大坪秀一)	4名 (郭曉川、張启鋒、陳兵、劉高飛)
主な実績	交通弱者に関する政策研究会「長期的人口動態と交通弱者問題の顕在化」月刊「地域開発」/東南アジアのエネルギーと物流自動車用燃料の将来予測に関する研究	『地域再生のフロンティア 中国山地から始まる この国の新しいかたち』 「地域サポート人ネットワーク全国協議会」立ち上げ 「中国地方中山間地域振興協議会」設立	シンポジウム「公共空間を市街地活性化につなげる—山陰地方の中心市街地における中心市街地再生への取組み—」 中海・宍道湖畔ワークショップ 2011 中海ワークショップ 2010 よなご・かえるワークショップ 2009	大震災を踏まえた防災・減災に関する調査研究 「災害ボランティアから協働による地域復興のプロセスへ:岩手県野田村での活動事例」 学生まち活—八戸アートと地域活性化の研究 北東北3県域ものづくりビジネスマッチングフォーラム	「越境地域政策」に関する日中研究交流会 「中米共同による持続可能性科学の確立」に関する国際シンポジウム 「GISの地域経済研究における応用—方法および事例」の日中共同シンポジウム 「内モンゴル自治区の持続可能な発展」に関する中米シンポジウム

**中国北部省境地域  
(内モンゴル自治区)**

**青森・岩手県境地域**

**島根・鳥取県境地域**

**鳥取・島根・岡山・広島  
・山口県境地域**

**三遠南信地域**

**福岡・佐賀県境地域**

2013年度筑後川大学・青森県地域政策研究センター「越境地域政策研究拠点」地域間交流研究シンポジウム

**シンポジウム  
「中海自然再生に向けた取り組みと  
環境学習拠点づくり」**

**日時** 2014年 3月7日(金)

**会場** 米子市文化ホール  
イベントホール  
鳥取県米子市末広町293  
(米子駅より徒歩2分)

**スケジュール**

- 1) 受付 13:30 -
- 2) 講演 14:00 - 15:00  
\*1) 中国地方の環境政策について(藤原 隆雄)  
\*2) 中国地方の環境政策について(藤原 隆雄)  
\*3) 米子市立環境学習センターの取組について(藤原 隆雄)
- 4) 4人パネルディスカッション 15:50 - 17:20  
\*1) 中国地方の環境政策について(藤原 隆雄)  
\*2) 中国地方の環境政策について(藤原 隆雄)  
\*3) 米子市立環境学習センターの取組について(藤原 隆雄)  
\*4) 米子市立環境学習センターの取組について(藤原 隆雄)
- 5) 懇親会 18:00 -  
会場: 米子市立環境学習センター  
会費: 500円(税別)

★19:00 - 12:00 見学会を行います  
\*1) 米子市立環境学習センターの見学会(無料)  
\*2) 米子市立環境学習センターの見学会(無料)

シンポジウムおよび懇親会のお申込み  
参加を希望される方は、E-mailまたはFAXでお申込みください。

1) お申込み方法: 締切2月28日まで  
2) お問い合わせ:  
藤原 隆雄  
米子工業高等専門学校地域政策研究センター  
〒690-8501 米子市末広町293  
TEL: 0859-24-5151 FAX: 0859-24-5151  
E-mail: hironobu@nissui.ac.jp

# 2014年度 共同研究公募要領(抜粋)

## 一般共同研究

- ・研究内容／一般共同研究者は、全国の研究者を対象に、特定の越境地域において、以下の越境地域政策に関する研究課題(課題研究、自由研究)を対象とする。

課題研究	1.越境地域のガバナンス形成 2.越境地域のリスク管理 3.越境地域の産業経済連携 4.越境地域の生活環境形成 5.越境地域の情報基盤整備
自由研究	越境地域政策に関する研究課題を自由に設定

- ・申請対象者／大学およびその他研究機関等に所属する研究代表者と、共同研究者もしくは協力者を加えて2名以上で構成されているもの。
- ・募集件数／数件
- ・研究費 / 1件50～100万円
- ・申請期間／2014年3月1日(土)～4月30日(水)必着
- ・採択通知／2014年5月上旬
- ・研究期間／2014年5月下旬 ～2015年3月末

## 地域間交流研究

- ・研究内容／地域間交流研究は、越境地域政策研究の基盤づくりを目的として、特定の越境地域(国内・国外)における産・官・学の研究者や行政関係者によるシンポジウム・研究会等の研究交流事業を中心とする。
- ・申請対象者／越境地域政策に関与する、もしくは関与が想定される研究者、行政関係者、経済団体、NPO関係者など。申請者を含めた産・官・学の複数名からなるグループで実施すること。シンポジウム、フォーラム、セミナー、ワークショップ、研究会等、越境地域政策のための研究交流を開催し、その成果を、愛知大学三遠南信地域連携研究センターにおいて報告・発表できるもの。
- ・募集件数／数件
- ・研究費 / 1件50万円以内
- ・申請期間／2014年3月1日(土)～4月30日(水)必着
- ・採択通知／2014年5月上旬
- ・研究期間／2014年5月下旬 ～2015年3月末

# コア研究会

### 第1回コア研究会

開催日:2013年6月28日  
 話題提供者: 駒木伸比古 准教授  
 テーマ:「改正まちづくり三法下における大型店の郊外出店とそれに対する規制の運用—徳島都市圏の事例—」

### 第2回コア研究会

開催日:2013年7月26日  
 話題提供者: 戸田敏行 教授  
 テーマ:「越境政策に関する紀要研究の紹介」

### 第3回コア研究会

開催日:2013年8月31日  
 話題提供者: 高橋大輔 氏(東三河地域研究センター)  
 テーマ:「県境地域における地域計画の策定プロセスと評価に関する研究—三遠南信地域連携ビジョンを事例として」  
 「流域圏における都市住民の中山間地への居住・滞在意向に関する研究—三遠南信地域を事例として—」

### 第4回コア研究会

開催日:2013年9月21日  
 話題提供者: 暁敏 研究員  
 テーマ:「内モンゴルにおける乳産業と越境」

### 第5回コア研究会

開催日:2013年11月16日  
 話題提供者: 蔣湧 教授  
 テーマ:「越えるから超えるへ—越境地域の政策研究に向けて」

### 第6回コア研究会

開催日:2014年3月18日  
 話題提供者: 内海巖 氏(上越市創造行政研究所主任研究員)  
 テーマ:「自治体シンクタンクに期待される役割と課題」



# 内蒙古大学EMBA学生の日本研修

2013年10月18～20日の期間、三遠南信地域連携研究センターにおいて「内蒙古大学EMBA学生の日本研修」を実施しました。「EMBA」とは「Executive MBA」の略称であり、エグゼクティブ経営学修士として、従来のMBAよりもさらに上級の管理職、ビジネスリーダー、経営幹部の教育プログラムを展開するもので、欧米や中国で広く進展しています。内蒙古大学は、中国内で60あまりのEMBA教育資格を持つ指定大学の一つであり、内蒙古自治区では唯一のEMBA教育機関を持つ大学です。EMBA教育のカリキュラムには海外研修が組み込まれており、海外での研修を通して関連講座の受講や企業見学を行うことで、より高度な経営能力のスキルを会得することを目的としています。

内蒙古大学では、これまで英国ケンブリッジ大学、米国ミシガン大学で同研修を実施してきましたが、当センターとは以前より共同研究で連携していたこともあり、日本で初めてEMBA日本研修を実施するのはこびととなりました。研修では日本の経済に関する講義に加えて、地元企業の見学を実施するなど日本の企業経営について学ぶプログラムを実施しました。



# アクセス

## ■愛知大学豊橋キャンパスまでのアクセス



## ■お問い合わせ先

〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町 1-1  
TEL 0532-47-4157 FAX 0532-47-4576  
URL <http://www.aichi-u.ac.jp/san-en/>

## ■愛知大学豊橋キャンパスマップ

